


# にこにこ通心

平成28年4月

vol.70 勝裕章 



## あなたはあと何回桜の花を見ることができますか？

先日、終活セミナーを受講してきました。

講師は川口宗治さん。僕の大学時代の同級で、2年半前に相続診断士として独立され、富山で笑顔相続を広める活動をしています。

副題は「後悔しない人生を生きるために、今も大切に生きるあなたに贈るセミナー」

人生には必ず終わりがあります。しかしながらその日がいづなの方は誰にも分かりません。90才以上の方々に「人生でやり残したことは？」との問いに対し、90%の人がした回答。それは…「もっとやりたいことをやっておけばよかった」というもの。



自分の最期の瞬間をリアルにイメージしてみる、というワークがありました。

「今日が人生最後の1日です。ベッドで横になっている自分。部屋には自分以外誰もいません。命尽きるまで残り30分…10分…あと1分です。(照明が徐々におとされる)…心臓の鼓動がだんだん弱くなってきました…今、あなたは亡くなりました」そのまま5分経過で点灯。

いかがでしたか？ と川口さん。

ただだ！ やり残したことがいっぱいある！ 自分も90%の人でした。

そして希望者のみの入棺体験。

自分がどう感じるかを確かめたい気持ちもあり、僕も体験。棺の中に入り、静かに蓋が閉められます。真っ暗な棺の中で約2分が経過。あの世がどうなっているかは分かりませんが、「あー、もう誰とも話すこともできないんだ。何も感じることもできなければ動くこともできない」と思った時、自然と湧いてきた感情。それは「今」を思いいっぱい楽しんで生きる、ということ。嬉しいこと、悲しいこと、楽しいこと、苦しいこと、すべて生きている人だけが感じられる特権です。不安、恐怖を感じて身動きができません。いることがとてつもないことか。

そして最後に、次の素敵な言葉をいただきました。

「あなたが生まれた時、あなたは泣いていて周りの人は笑っていたでしょう。だからいつかあなたが死ぬ時は、あなたが笑っていて周りの人が泣いているそんな人生を送りなさい」

by ネイティブアメリカンの言葉

胸がジーンと熱くなりました。

心新たに残りの人生を生きること、それもひとつの「終活」と言えるのかもしれません。仕事、家族、趣味、精神面(感謝、優しさ、謙虚、素直、強さ)など、自分の目標を定め、ゴールに向かって歩んでいくと決意した、そんな素敵なセミナーでした。川口さん、ありがとうございました。

- そんな川口さんが代表をつとめる「北陸相続診断士会」主催の「笑顔相続シンポジウム」が6/1富山で開催決定!!
- 内容は「全国各地で1万5千人が笑って泣いた「笑顔相続落語」」「公開エンディングノート書き方教室」の2部構成です。
- 相続は財産の多い少ないではありません。全ての人に訪れる人生最後の仕事。大切な人に想いを残す重要性に
- 気づく、そんな1日になること間違いなし! ご興味ある方、勝裕までご連絡ください。詳細は別紙。

The trial version converts only 1 page. Evaluation only.

Converted by First PDF.

*(Licensed version doesn't display this notice and converts the whole PDF document!)*

[Click to get the license for First PDF.](#)